



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 92 号

R4.12.22

文責 中西 勉



「47都道府県の名称と位置」を理解する良い工夫

今週は、強い寒気の南下により、日本海側の地方が大雪に見舞われました。そのため、連日、テレビやインターネットのニュースでは、「山形県の肘折では、観測史上最も早く積雪が2mに達しました」「新潟県では、柏崎市や長岡市の国道8号で、大雪による大渋滞が発生しています」など、大雪に関する報道がなされました。

さて、小学生がそうした情報を耳にしたとき、そのことは日本のどのあたりで起きていることなのかをどれくらい理解できているのかと考えると、少し心配になるときがあります。学習指導要領では、4年生の社会科で、「47都道府県の名称と位置」について学ぶことが定められています。4年生でこれを十分に理解しておくことは、将来、社会人として世の中に出ていく上で、とても大切なことです。

本校でも、2学期に4年生が47都道府県の学習を進めてきました。それに関して、4年3組では、理解をより確実にするために、教室前の流しに、ある工夫がしてあります。それは、右の写真のように、水道の蛇口の近くに地方別の地図が貼ってあるのですが、日常の景色の中に学びの事象をうまく溶け込ませており、毎日それを目にするという点で大変有効な手だてであると思います。例えば、自分の家の周りの様子は、特に意識して覚えようとしなくても、自然と把握できています。それは、その景色を毎日目にしているからです。このことを学びに応用しない手はありません。私自身も学生時代には、日本地図や世界地図、理科で学ぶ元素の周期表などを部屋の壁に、また、覚えたい英単語を書き出した紙をベッドの真上の天井に貼り、そうした学びの事象が自然に目に入る工夫をしていました。今、改めて振り返ってみても、かなり効果があったと感じています。



▲教室前の流しに貼られている地図（4年3組）

最後に、家庭での「47都道府県の名称と位置」の学びについてですが、テレビの近くに日本地図を貼り、ニュースで流れた都道府県の位置などを子供がすぐに確認できるようにしておく、都道府県への関心が高まり、学びが深まりやすいと聞いたことがあります。よろしければ、参考にしてください。



新型コロナ「第8波」の中で迎える冬休み

明後日<24日(土)>から、例年に比べて長い17日間の冬休みに入ります。新型コロナ「第8波」の中で迎える冬休みですが、子供たちやご家族の皆様が、健康に17日間を過ごされることを願っております。そして、1月10日(火)の始業式で、元気な男川っ子に会いたいです。

今日は、冬至。今宵は、ゆっくりとゆず湯につかって、あったまりたいです。

それでは、良いお年をお迎えください。

